

達成度評価シート（年度実績評価用）

〈評価点〉
5点：年度計画を大幅に上回って実施している
4点：年度計画を上回って実施している
3点：年度計画を計画どおり実施している
2点：年度計画を十分に実施できていない
1点：年度計画を実施できていない（未実施）

戦略（直接目的）				アクションプラン（具体的手段）				
中項目	内容	R2 市長評価		小項目	内容	R2 法人評価	R2 市長評価	R2 評価委員会 意見（要旨）
		評価の理由	達成度					
1	活動の基盤をなす人材及び資料等の充実並びに施設及び設備の整備	学芸員5名を法人の正規職員として採用したこと、並びに科学研究費補助金の採択件数が前年度をさらに上回ったことは高く評価できる。資料の充実や施設・設備の改修も計画通りに進んでいる。	4	1	博物館等資料の新たな収集	3	3	No4については、学芸員を期限付きではなく、法人の正規職員として安定的に雇用したことが評価ポイントである。
				2	防災及び防犯を含めた博物館等資料の適切な保管及び将来への継承	3	3	
				3	博物館等資料に関する情報及び資料の収集、整理及び提供	3	3	No9にかかる科学研究費補助金については、新規で昨年度を上回る17件の採択を受けたとのことであるが、これは特筆すべき成果である。
				4	法人の活動の中核を担う専門的な人材の安定的確保及び育成	4	4	
				5	博物館等資料並びにその保管及び公衆の観覧に関する調査研究	4	4	
				6	博物館等の運営に関する調査研究及び評価等	3	3	
				7	博物館等資料の保全及び効果的な活用のための計画的な修復	3	3	
				8	博物館等の施設として必要な機能及び快適な利用環境の確保に向けた各館の施設の計画的な整備及び改修	4	4	
				9	調査研究活動等の拡充を目指した外部資金の獲得	4	5	
				10	バリアフリー及びユニバーサルデザインに配慮した各館の施設の計画的な整備及び改修	3	3	
				合計	(50点満点)	34	35	
2	幅広い活動及び連携を通じた博物館等の魅力の効果的な発信	新型コロナウイルス感染症の影響（以下、「コロナ禍」とする）による長期の休館、入場者数の制限、インパウンドの減少などにより来館者数及び行事参加者数は減少したが、さまざまな対策を講じることにより一定の実績を確保することができた。またオンライン配信等の代替措置を積極的かつ柔軟に実施したことは高く評価できる。	3	11	常設展における展示替え	3	3	No13について、コロナ禍を契機として、様々な媒体を用いたコンテンツの発信を行った点などは、高く評価できる。
				12	自主企画による特別展等の充実による展示活動の活性化	4	4	
				13	博物館等資料並びにその保管及び公衆の観覧並びにそれらの調査研究に関する教育及び普及の事業を行うこと	3	4	No19については、代替措置を実施している事業があるものの、計画の多くが未実施であったため評価は2とする。
				14	多様な媒体及び手段を通じた調査研究その他の活動の成果の公開	3	3	
				15	博物館等資料の貸出し及び他の博物館等関係機関の資料の借用	3	3	
				16	各館の枠を超えた知識及び経験等の共有並びに展示及び広報等における戦略的連携	3	3	
				17	ICT等を活用した博物館等資料に関するさまざまな情報の有効利用及び博物館等資料のアーカイブ化による公開の推進	3	3	
				18	他の博物館等関係機関との相互支援及び協働を通じた相互の資源の保全及び効果的な活用	3	3	
				19	各館の建物及びその附帯設備等を有効活用した幅広い事業の実施	3	2	
				合計	(45点満点)	28	28	
3	戦略的広報の展開	マーケティングの実施と他機関との連携は遅れているが、SNSの活用やメディアへの働きかけなどを積極的に行ない、学芸員の露出を増やしている点は進んでいると評価できる。	3	20	広報の対象及び時機並びに媒体の特徴を捉えた迅速で柔軟な情報発信	4	3	No20について、コンテンツ配信として評価すべきものが含まれており、広報という観点では評価は3が妥当である。
				21	マスメディア等への積極的な情報発信	3	3	
				22	各館の枠を超えたマーケティングの実施及びその結果に基づく広報戦略の策定	2	2	
				23	生涯学習に関する施設その他の博物館等に関連する施設及びその事業者との連携及び協働を通じた広報活動の展開	2	2	
				24	各館の職員の専門的な知識及び技能を活かした効果的な広報活動の展開	4	4	
				合計	(25点満点)	15	14	

達成度評価シート（年度実績評価用）

- 〈評価点〉
- 5点：年度計画を大幅に上回って実施している
 - 4点：年度計画を上回って実施している
 - 3点：年度計画を計画どおり実施している
 - 2点：年度計画を十分に実施できていない
 - 1点：年度計画を実施できていない（未実施）

戦略（直接目的）				アクションプラン（具体的手段）				
中項目	内容	R2 市長評価		小項目	内容	R2 法人評価	R2 市長評価	R2 評価委員会 意見（要旨）
		評価の理由	達成度					
4	ソフトの充実及び利用者の受入れ体制の整備	コロナ禍によりメディア等と連携した共催展の開催は困難に直面したが、会期を変更するなどの工夫も重ねつつ可能な限り実施した。バリアフリー化、障がい者支援、多言語表記など来館者受け入れ体制充実の取り組みは引き続き前進している。事業者との連携による観光客の獲得は難しかったが、全体としては計画通り実施できていると評価する。	3	25	マスメディア等と連携した特別展及び企画展の誘致	3	3	
				26	さまざまな利用者の受入れ体制の充実	3	3	
				27	多言語表記等による外国人の受入れ体制の充実	3	3	
				28	芸術文化に係る団体への成果発表の機会の提供及び当該団体の活動の奨励	3	3	
				29	さまざまな事業者等と連携した観光客の獲得	2	2	
				合計	（25点満点）	14	14	
5	周辺エリアで活動するさまざまな事業者等との連携	コロナ禍のため周辺の事業者等との協働によるイベントの多くは実施困難であったが、各館とも近隣の施設や交通機関などに積極的に働きかけ、広報などにおいて連携を深めている。	3	30	各館の近隣の施設及び周辺エリアで活動するさまざまな事業者等との連携による広報及び誘客	3	3	
				31	各館の近隣の施設及び周辺エリアで活動するさまざまな事業者等と協働して行うイベントの企画及び実施	3	3	
				合計	（10点満点）	6	6	
6	民間企業等との協働等	民間事業者との連携によるミュージアムグッズの開発やオンラインショップの開設は着実に進展している。	3	32	各館の売店等における民間企業等と連携したサービスの充実	3	3	
				33	民間企業等との協働による各館の活動に関連する商品及び技術の開発	3	3	
				34	博物館等資料及び関連情報を活用した民間企業等の活動の支援	3	3	
				合計	（15点満点）	9	9	
7	子ども及び教員等への支援	コロナ禍により中止せざるを得なかった行事が多く、代替措置も困難であった。	2	35	子ども向けワークシートの作成及びワークショップ等の実施	3	2	館により取組の濃淡があることは認めるが、全体としてコロナ禍を十分にカバーできているとは評価できない。
				36	教員等を対象とした研修及び教材の開発に係る支援の実施	3	3	
				合計	（10点満点）	6	5	
8	幅広い利用者への支援	コロナ禍により中止せざるを得なかった行事も多いが、オンライン等による研修や講演会に切り替えるなど代替措置を積極的に講じていたことにより、全体としては計画通りと評価する。	3	37	学生その他の専門的な知識の習得を目指す者への支援の実施	3	3	
				38	博物館等資料並びにその保管及び公衆の観覧並びにそれらの調査研究に関する教育及び普及の事業を行うこと	3	3	
				39	多様な媒体及び手段を通じた調査研究その他の活動の成果の公開	3	3	
				40	多言語表記等による外国人の受入れ体制の充実	3	3	
				合計	（20点満点）	12	12	
9	参画機会の提供	コロナ禍により中止せざるを得なかった行事が多く、代替措置も困難であった。	2	41	ボランティア及びN P O の各館の活動への参画の促進	3	2	全体としてコロナ禍を十分にカバーしているとは評価できない。
				42	各館の活動に関する利用者との対話の機会及び場の設定	2	2	
				43	さまざまな人々が自らの学習成果を活用して行う教育活動の機会の提供及びその奨励	3	2	
				合計	（15点満点）	8	6	

達成度評価シート（年度実績評価用）

〈評価点〉
5点：年度計画を大幅に上回って実施している
4点：年度計画を上回って実施している
3点：年度計画を計画どおり実施している
2点：年度計画を十分に実施できていない
1点：年度計画を実施できていない（未実施）

戦略（直接目的）				アクションプラン（具体的手段）				
中項目	内容	R2 市長評価		小項目	内容	R2 法人評価	R2 市長評価	R2 評価委員会 意見（要旨）
		評価の理由	達成度					
10	大阪中之島美術館の開館に向けて	建設工事が完了し、開館準備も予定通り進んでいる。	3	44-1	工事定例会や整備内容に関する協議等に積極的に参加し、情報の収集を行う(追加)	3	3	
				44-2	学芸員の視点が整備内容に適切に反映されるよう、大阪市に助言を行う(追加)	3	3	
				44-3	コレクション展及び企画展の開催の準備	3	3	
				45	新たな博物館等資料の収集	3	3	
				46	博物館等資料の公開に向けた修復及びアーカイブ化	3	3	
				47	開館に向けた機運の醸成	3	3	
				48	大阪中之島美術館をともに運営するPFI事業者の選定	－	－	
				合計	(30点満点)	18	18	
11	人材の活用と育成	技術部門、総務部門の体制強化や常勤館長の配置などにより人員配置が充実し、研修に関しても充実した取り組みがなされているので、計画を上回って実施していると評価する。	4	49	職員の能力が発揮できる組織体制の構築及び適切かつ柔軟な人員配置	4	4	No49においては法人全体の組織体制強化の取り組みを評価する。 No52はNo4と同じ内容であるが、ここでは専門的な人材の確保と育成に焦点を当てて評価する（No4では法人の基盤強化の観点から評価）。
				50	職員のスキルアップを図るための学習機会の確保	3	3	
				51	包摂的な社会にふさわしい人材の獲得	3	3	
				52	法人の活動の中核を担う専門的な人材の安定的確保及び育成	4	4	
				合計	(20点満点)	14	14	
12	評価制度の活用	年度計画の立案と法人自己評価においては改善を必要とする点が見られる。一方、事業評価や人事評価については積極的に取り組み、制度構築がなされていることから、全体としては計画通りと評価する。	3	53	法人の中期計画及び年度計画における適正な目標設定及び自己評価	2	2	No54については、既に中期目標の達成がなされており、そのスピード感も含め、評価は4が妥当と判断する。
				54	能力に応じた人事評価の実施	3	4	
				55	法人の適正な目標設定及び評価の基礎となる運営に関する調査研究の実施	4	4	
				56	インセンティブが適正に働く人事制度の導入	3	3	
				合計	(20点満点)	12	13	
13	ICTの導入及び活用・民間活力の導入	財務会計システムの導入や、人事・給与システムの稼働等、業務へのICT導入を一気に進め、活用が進んでいること、また広報部門において民間から実務経験のある人材を採用したことなどから計画以上の進展が図られたと評価する。	4	57	財務、会計、勤怠、人事及び給与業務等におけるシステムの導入及び活用	4	4	
				58	事業効果を見極めた外部委託の推進	3	3	
				59	専門的な知識又は技能を有する民間の人材の登用	4	4	
				60	民間事業者等の外部からの意見を聴取する仕組みの導入	3	3	
				合計	(20点満点)	14	14	

達成度評価シート（年度実績評価用）

〈評価点〉
5点：年度計画を大幅に上回って実施している
4点：年度計画を上回って実施している
3点：年度計画を計画どおり実施している
2点：年度計画を十分に実施できていない
1点：年度計画を実施できていない（未実施）

戦略（直接目的）				アクションプラン（具体的手段）				
中項目	内容	R2 市長評価		小項目	内容	R2 法人評価	R2 市長評価	R2 評価委員会 意見（要旨）
		評価の理由	達成度					
14	収入の確保	コロナ禍対策を積極的に実施することによって観覧料収入の減少を最小限に留めるとともに、コロナ禍対策のための文化庁からの補助金も獲得した。また、国税庁との協議により寄附収受における所得税減免措置を簡素化したことは、今後の寄附収入増につながる貴重な成果である。以上のことから計画を上回って実施できたと評価する。	4	61	幅広い利用者の獲得及び法人資産の有効活用による収入の増加	3	3	
				62	各館の活動への理解と支援に基づく寄附金等の積極的な獲得	5	5	
				合計	（10点満点）	8	8	
15	経費の節減	可能な限りの競争入札や一括購入の実施などが堅実に行なわれている。	3	63	契約の方法、期間及び単価の見直しによる経費の縮減	3	3	
				64	共同調達による経費の縮減	3	3	
				合計	（10点満点）	6	6	
16	環境整備	ペーパーレス化やオンライン会議などのICT化を、コロナ禍という状況も重なって加速度的に展開した。また、内部統制に必要な体制も順次整備するなど、全体として計画通り実施できていると評価する。	3	65	法人として内部統制に必要な規程及び体制の整備並びに法人内での周知徹底	3	3	
				66	研究者及び学芸員として必要な規程及び体制の整備並びに法人内での周知徹底	3	3	
				67	各職階及び各職域に応じた必要な権限の付与及び責任の明確化	3	3	
				68	法人の各機関への適切な権限の配分及び各機関における適切な意思形成の確保	3	3	
				69	情報共有に必要なイントラネットをはじめとするＩＣＴの活用の促進	4	4	
				70	内部監査等による定期的な内部点検及び監事による監査の確実な実施	3	3	
				合計	（30点満点）	19	19	
17	重要なリスク回避のための体制の構築	内部監査計画書の策定や情報セキュリティの規定整備を進め、計画通りに取り組みがなされていると評価する。	3	71	リスク管理体制の整備及び組織全体で取り組むべき重要なリスクの評価	3	3	
				72	ネットワークセキュリティの強化	3	3	
				合計	（10点満点）	6	6	
18	利用者等の安全確保	ガイドラインに基づくコロナ禍対策が的確に実施され、その他の整備事業も計画的に進められている。	3	73	利用者及び職員等の安全確保に必要な体制の整備及び各館で業務に従事する関係者への安全意識の周知徹底	3	4	No73について、コロナ禍において、その対策を迅速に行えた点については、大いに評価してもよい。
				74	博物館等の施設として必要な機能及び快適な利用環境の確保に向けた各館の施設の計画的な整備及び改修	3	3	
				75	バリアフリー及びユニバーサルデザインに配慮した各館の施設の計画的な整備及び改修	3	3	
				合計	（15点満点）	9	10	

別添

【実施時期】 R2・**R3**・R4・R5・R6 年度

達成度評価シート（年度実績評価用）

〈評価点〉
5点：年度計画を大幅に上回って実施している
4点：年度計画を上回って実施している
3点：年度計画を計画どおり実施している
2点：年度計画を十分に実施できていない
1点：年度計画を実施できていない（未実施）

戦略（直接目的）				アクションプラン（具体的手段）				
中項目	内容	R2 市長評価		小項目	内容	R2 法人評価	R2 市長評価	R2 評価委員会 意見（要旨）
		評価の理由	達成度					
19	環境保全の取り組み	環境配慮の取り組み指標の具体化が遅れているが、省エネ対策やペーパーレス化などに積極的に取り組んでいることから、全体としては計画通りと評価する。	3	76	省エネ機器の使用の推奨及び適正な空調温度の設定	3	3	
				77	再生紙その他の資源の有効利用の促進	3	3	
				78	環境に配慮した取り組みの指標化及びその公開	2	2	
				79	新たな省エネルギーの実現に向けた取り組みの推進	3	3	
				合計	（20点満点）	11	11	
20	情報公開の推進	ウェブサイトを通じた情報公開等に積極的に取り組んでいることから計画通りと評価する。	3	80	ホームページ等を通じた情報の積極的な公開	3	3	
				81	情報公開請求に対する迅速な対応	3	3	
					（10点満点）	6	6	
合計	（100点満点）		62	総合計	（410点満点）	255	254	